

ネットベンチャーの将来性

ネットベンチャーで働きたいと思っていましたが、「ネットバブルの崩壊」が話題になっています。ネットベンチャーの将来性は本当のところ、どうなのだろうか……

つ

いこの間まではこの世の春を謳歌していた観のあるネットベンチャー。確かにここへきて失速が目立つが、専門家はどう見ているのだろうか。独立系ベンチャーキャピタル、日本テクノロジベンチャーパートナーズ投資事業組合代表の村口和孝さんは次のように語る。

「マスメディアの報道は、日米ともにネットベンチャーは全滅みたいなニュアンス。でも、実際は「全滅」ではなくて「選別」です」



ほぼ半値に下げた。しかし、その原因は約7割の銘柄が9割も下落しているためで、実は値を上げて

いる企業も少なくないということ。IT、ネット関連は、依然として中長期的な成長分野といえるのだ。「注意すべきなのは、投資家のネットベンチャーを見る目が厳しくなってきたこと。かなり確実性の高いビジョンのある企業でない」と、投資してもらえない。それはアメリカでも日本でも同じことです。投資家の選別から売られた会社は、いずれ運転資金が払底し、事業の存続すらおぼつかなくな

る。行き着くところは解散か売却だ。しかし、選ばれた企業はスムーズに資金を調達できるばかりか、選別からまれて撤退を余儀なくされた企業の資産を二束三文で手に入れたりしている。言葉は悪いが「焼け太り」のような状況。負け組の資産を手に入れて、勝ち組はますます太る。

では、勝ち残るネットベンチャーの条件とは何か。村口さんは「マネジメント能力のあるいい経営者と優れた技術者がいること、何で

儲けるのかというビジョンがハッキリしていることが大前提。その上で、質実剛健な経営をしているかどうかポイントだと思えます」という。彼の言う「質実剛健」とは、日頃の冗費を抑える一方、事業の将来のためには積極的にお金を使うということだ。その点は経営者に会うなどして、直接たずねべきだと村口さんはいう。

一方、「ネットベンチャーへの就職はやめた方がいい」というのは、「ベンチャークラブ」(東洋経済新報社)編集長の、田北浩章さん。直接消費者を相手にするB to Cは特にダメ。法人相手のB to Bは見込みがあるとしても、大企業が乗り出してくるからベンチャーでは厳しいという見方だ。とはいえ、「CATVなどブロードバンドがらみ、あるいはソフト開発やベンチャーキャピタル、それにITコンサルティングなど、「ネット周り」のベンチャーの中に、有望企業があるかもしれない」

(田北さん)という。

回答者



ベンチャークラブ
編集長
田北浩章さん

回答者



日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資事業組合代表
村口和孝さん

ストックオプションで一獲千金?

あるベンチャー企業の社長から「ウチに来れば、ストックオプションで一獲千金も夢じゃない!」と誘われています。魅力も感じますが、そんなにうまい話があるものかどうか……

そ

んな社長は経営者として失格!と手厳しいのは、「ベンチャークラブ」の田北浩章さん。「起業家はパワフルな夢で社員を引っ張らなきゃダメ。吸引力をカネに求めるような社長では、ちょっと儲からないとなると社員がどんどん辞めてしまう。そんな会社には入らない方がいいね」

ストックオプションとは、自社株を一定の期間内に一定の権利行使価格で買える権利。要は株価がどう変動しようともあらかじめ決められた価格で買えるということだ。会社が成長して株価が上がって

いれば、時価よりも安い価格で買える。すぐに売却すれば差額がまるまる儲けになるわけだ。経営基盤が弱いベンチャー企業にとって

一獲千金どころではない。株式公開を途中で断念したような場合も同様だ。だからこそ社員のやる気を喚起できるということもこの制度の1つの意味なのだが、いずれにしても最初から大きな実入りが約束されているわけではないことに注意する必要がある。

ネットバブルが崩壊した今となってはなおさら、この制度に多くを期待するわけにはいかない。しかし、株価が下落した今が絶好のチャンスという考え方もある。「株価が高い時期だと権利行使価格が高すぎて、せつかくストックオプションを取得しても意味がない。バブル崩壊で株価が暴落している今の方がむしろ、将来的に大きな利益を手に入れられる可能性があります」(日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資事業組合・村口和孝さん)

いずれにせよ、企業の成長がなければストックオプション利益を望むべくもない。「それよりも、その会社で本当に働きたいかどうかをじっくり考えることが大切」というのが、2人に共通する意見だ。

いずれにせよ、企業の成長がなければストックオプション利益を望むべくもない。「それよりも、その会社で本当に働きたいかどうかをじっくり考えることが大切」というのが、2人に共通する意見だ。